

((第1回)最終) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年5月30日
契約業者名	前田道路（株） 北関東支店
契約業者の住所	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-195-1
工事の名称	R 6 国道4号東埼玉道路（専用部）八潮地区改良舗装その2工事 （第1回変更）
工事場所	埼玉県八潮市八條地先・自）埼玉県越谷市増森 至）埼玉県北葛 飾郡松伏町田島
工事種別	アスファルト舗装工事
工事概要 （変更した内容に ついて記述する）	<div>道路土工 一式</div> <div>地盤改良工 一式</div> <div>舗装工 一式</div> <div>破水構造物工 一式</div> <div>防護柵工 一式</div> <div>区画線工 一式</div> <div>道路照明設備工 一式</div> <div>取付道路工 一式</div> <div>構造物撤去工 一式</div> <div>仮設工 一式</div> <div>標識工 一式</div> <div>共通仮設費 一式</div>
工期（自）	令和6年7月18日
工期（至）	令和7年6月30日
契約前の変更金額	¥190,300,000
変更金額	増 ¥32,670,000
変更後の契約金額	¥222,970,000

変 更 理 由

1. 道路土工

現地調査の結果、作業時の交通の影響が少なく、昼間での作業が可能となったため、掘削工、路床盛土工を減工する。

修正設計の結果、路面の排水に影響があり、横断勾配を変更する必要性が生じたため、路体盛土工、法面整形工を増工する。

監督職員との協議の結果、路床盛土工 (ICT) を追加する。

2. 地盤改良工

現地調査の結果、C B R 値が不足しているため、路床安定処理工を追加する。

3. 舗装工

現地調査の結果、作業時の交通の影響が少なく、昼間での作業が可能となったため、アスファルト舗装工【土工部】を減工する。

現地調査の結果、栈橋の覆工板が一体化していなく、振動により早期にクラックが入る恐れがあるため、アスファルト舗装工【仮橋部】を増工する。

監督職員との協議の結果、アスファルト舗装工 (ICT) 【土工部】を追加する。

現地調査の結果、交通荷重が横矢板に作用していることから、交通荷重に対する影響を少なくする必要性が生じたため、段差抑制工を増工する。

4. 排水構造物工

現地調査の結果、既存のU 型側溝を付替える必要性が生じたため、作業土工、管渠工、プレキャストカルバート工を増工する。

現地調査の結果、側溝工を数量精査 (減) する。

近隣住民との協議の結果、取付道路の施工が不要となったため、集水枡・マンホール工を減工する。

5. 防護柵工

関係機関との協議の結果、車両用防護柵の種別をC 種からB 種に変更する必要性が生じたため、

路側防護柵工を増工する。

6. 区画線工

現地照査の結果、耐久性を考慮し、区画線をペイント式から溶融式に変更する必要性が生じたため、区画線工を増工する。

7. 道路照明設備工

現地調査の結果、現道横断部について、交通への影響を踏まえ、地中配管から架空線に変更する必要性が生じたため、配管・配線工を増工する。

8. 取付道路工

近隣住民との協議の結果、取付道路の施工が不要となったため、取付道路工【耕作地進入路】を減工する。

9. 構造物撤去工

現地調査の結果、現道横断部について、交通への影響を踏まえ、地中配管から架空線に変更する必要性が生じたため、構造物取壊し工、運搬処理工を減工する。

現地調査の結果、現地条件が変わっていたため、縁石撤去工を増工する。

10. 仮設工

近隣住民との協議の結果、工事用道路工を追加する。

現地調査の結果、覆工板を溶接して一体化し、振動によるクラックが入らないようにする必要性が生じたため、仮橋・仮栈橋工を追加する。

11. 標識工

関係機関協議の結果、標識を設置する必要性が生じたため、小型標識工、大型標識工、運搬処理工を追加する。

12. 共通仮設費

仮設工の増工に伴い、運搬費を増工する。

13. 工期

工期については、31 日間延長して令和7 年6 月30 日までとする。